



地域共生応援大使
ふっころ

あなたとフクシを結ぶコミュニケーション誌

福祉だより 信州

社会福祉法人長野県社会福祉協議会 ふれあいネット信州 <https://www.nsyakyo.or.jp/>

vol.813
FEB.2024

編集・発行
長野県社会福祉協議会

富士見町地域共生センター



CONTENTS

ちいきとあなたと、ともに暮らす…………… 2P

社協のスケールメリットを生かし、
ニーズに応じた地域共生社会の推進を

特集 長野県まちづくりボランティアフォーラム 2023 4P

ふっころ Information

福利厚生の実践は、人材確保・定着に大きく貢献します…………… 7P

ふっころ Information

福祉サービスへの「悩みごと」「困りごと」を満足へ…………… 8P



「福祉だより信州」は
共同募金の配分金で
発行されています。



社協のスケールメリットを生かし、
ニーズに応じた地域共生社会の推進を



毎号、福祉の現場に新しい風を吹き込む
スタッフをご紹介します。

富士見町社会福祉協議会
地域おこし協力隊

ちば ゆりこ おちあい もえき
千葉 友理子さん・落合 萌貴さん

2023年6月、富士見町の中心部に、福祉を核とした地
域活性化の新拠点として富士見町地域共生センター
「ふらっと」が開所しました。常駐して日々の運営を行う
地域おこし協力隊の2人に、住民同士の交流の場や居
場所づくりを進めるための取組と展望などを聞きました。

町の中心部に誕生した包括的な地域福祉拠点



1



2



3



4



5

- 1 旧銀行の建物を活用。施設名を公募し、垣根のないフラット（平ら）な空間となるように、また「ふらっと」気軽に立ち寄れる場所になるよう願いが込められている。
- 2 2023年4月から「おこし隊」として活動する落合萌貴さん（左）は介護福祉士として、千葉友理子さん（右）は東日本大震災で子どもの居場所づくり支援をした経験を持つ。
- 3 木の温もり溢れる館内。クリスマス前には児童とツリーの飾り付けも行った。
- 4 情報発信拠点として多彩な地域活動の掲示も。
- 5 児童が職員と打ち合わせて掃除を企画するなど、新たな地域活動がここで生まれている。

住民に寄り添う居場所として誕生

全国で高齢化や人口減少により地域社会の存続が課題となり、地域共生社会の実現は以前にも増して重要になっています。そんな中、「住み続けられる福祉のまち」を目指す富士見町に新たに開所した地域福祉の総合拠点が「ふらっと」です。さまざまな相談に対応したワンストップの窓口と、障がい者や高齢者、子どもなどの居場所づくり、地域活動支援を3本柱に、町と町社協が協働で管理運営しています。

これまで、町内には町社協の5つの事業所があり、拠点ごとに介護・福祉に取り組みながら周辺住民の支援や居場所づくりなどを進めてきました。一方、中心部には事業所がなく、複合・包括的支援の利便性を高めるためにも拠点の設置が求められていました。そうした経緯から、駅前商店街にあった旧八十二銀行の建物を町が買い取り整備し、分け隔てなく誰にも対等に福祉が行き届く施設として「ふらっと」が誕生。

1階は相談窓口や誰でも自由に利用できる交流スペース、2階は調理室と地域活動などができる貸しスペースがあり、町社協を中心に運営が進められています。

地域おこし協力隊（おこし隊）の落合萌貴さんと千葉友理子さんは、日々の施設管理や窓口対応、イベント企画、情報発信などに取り組みながら、地域のニーズ把握にも努めています。

今後もニーズに合わせてブラッシュアップ

開所して約半年。「おこし隊」の2人が特に手応えを感じるのは子どもの居場所づくりです。学校の協力もあり、開所当日から放課後の居場所として毎日児童が来所。長期休暇には、より多くの子どもが利用できるよう多彩なイベントも実施し、クリスマス前に企画したケーキ作りは大きな反響がありました。

「冬は寒く外で遊びづらいため、居場所の必要性を感じていましたが、2日で20人の定員に達し、子どもの力になりたいという多くのボランティアにもお手伝いだけ、地域の需要を感じました。両者をつなぐコーディネーター役も果たせ、今後もこうした地域の方が喜ぶ機会を提供できたら」と2人は話します。さらに、11月には5年生の児童がクラス全員で「ふらっと」の掃除を自主企画してくれたことも2人の励みになったそう。現在は周辺の商店街と協力し、新たな取組も進めています。

「これからも、誰もが利用しやすく、地域の多くの方々に関わり続けてもらえるふらっとを目指したい」と話す2人。顔の見える地域福祉の展開に期待が高まります。

富士見町地域共生センターふらっと (富士見町社会福祉協議会 事務所)

【住所】富士見町富士見 4654-1 【電話番号】0266-78-8550

【開館時間】月～土 10:00～19:00



12/1(金)
諏訪市
文化
センター

長野県まちづくりボラン

長野県まちづくりボランティアフォーラム 2023 を12月1日～2日に、諏訪市で開催しました。

テーマを「ずくとあいがあるもので みんなで、ヨイサ!」とし、講演や事例報告、分科会をはじめ、楽しみながら地域共生社会を考え、つながりあう場になりました。参加者は、関係者・スタッフも含め2日間で延べ450名となりました。

1日目は、諏訪市文化センターにて、オープニングに諏訪市木遣保存会の木遣の披露(写真①②)、オープニングメッセージとして、ふくしと教育の実践研究所SORAの新崎国広氏(写真③)から、「お節介の本質「目配り」「気配り」「心配り」がボランティア精神であり、これが地域福祉のチカラになっている。ほっておけないという思い、楽しそうという思いがつながり、ひろがり地域がつくられていく」とコメントがありました。次の1部では「居場所」について、2部は「防災」と「まちあるき」に分かれて語り合い、その後、会場をRACO華乃井に移し、情報交換会を行いました。

2日目は、長野県福祉大学校を会場に、6つの分科会と特設ブースを開催し、終わりに2日間のまとめを行いました。

1部「ずくとあいがつくる居場所」

いろいろなところで聞くようになった「居場所」・子どものため?高齢者のため?ママのため?学校や職場以外の居場所がもたらす意義を、想いとともにも考えました。

就労移行支援事業所 Mirai 代表 高橋純氏(写真④)からは取組の紹介とともに「就労は活躍の場で、そこが生きる居場所になる。明るい豊かな社会の実現のため、選べる居場所をつくっていききたい」と熱い思いが語られました。

まちの駅「ふじや」子ども食堂ボランティアの安積順子氏、渡邊啓子氏(写真⑤)は、地域住民主体のゆるやかなネットワーク、つながりの活動について紹介があり、「そこに集まった一人ひとりができること、やりたいことを楽しくできる場で、ボランティアの居場所にもなっている」と語られました。

地域共生センターふらっと 富士見町地域おこし協力隊の落合萌貴氏、千葉友理子氏(写真⑥)からは、行政と社協がパートナーシップを組みながら行う地域の居場所について紹介があり「会話の中から課題を見つけて、ニーズに合わせてイベントなどを行っていききたい」と展望が話されました。

2部③「^{げん}と 幻燈〜く 県内まち歩きから見えてきたこと」

県内各地で「まち歩き講座」を行ってきた社協や地域団体と、まち歩きをすることでつながったヒト・モノ・コト・ハコについて語り合いました。また、ファシリテーターのまちの縁側育みプロジェクトの内山二郎氏と共に、県内3か所のまちの縁側の取組事例を紹介しました。報告者には、立科町からたてしな“ずく”りの会と長野県蓼科高等学校 地域コース3年生、諏訪市から諏訪市社協と両角忠幸さん、中野市から中野市社協と酒井忠雄さんにお越しいただきました。幻燈のように「ぼつ」と参加者の心に灯りをつけるような会になりました。(写真⑦)

2部⑥「サスながのが行く!防災・企業・社協交流会」

令和3年8月の大雨により開設された「諏訪市災害支えあいボランティアセンター」は、諏訪市社協、諏訪圏青年会議所、諏訪防災ネットワーク等による協働型で運営されました。それぞれの役割と協働のポイントを整理しながら、DSAT(長野県内社協災害ボランティアセンター運営支援者)やサスながの(災害ボランティアセンター応援企業パートナーズ)、そして、全国域で災害ボランティアセンター支援活動を展開する企業(トヨタ自動車株式会社)が加わり、今後の連携に向けたトークセッションを行いました。(写真⑧⑨⑩)



12/2 土
長野県
福祉
大学校

ティアフォーラム2023

第1分科会

「簡単ルールで!ポッチャ体験リーグ戦」

令和5年諏訪ブロック社会福祉協議会「ボランティア交流研究集会」と合同開催。誰もが一緒にプレイできるスポーツ「ポッチャ」ですが今回は、より広くみんなが楽しめるオリジナルルールでの開催。高齢者クラブの活動や地区サロン等の様々な場所で取組ができることを確認しました。(写真⑪)

第2分科会

「大切なことをあきらめない～私らしく暮らしを彩る～」

「諦めない人生(たび)のお手伝い～できることではなく、やりたいことを～」をモットーにする「ユニバーサル・サポートすわ」の活動を紹介。車いすユーザーのおでかけや、ハケ岳縦走のチャレンジなど、年齢や障がいなどにかかわらず、私らしい暮らしを彩ることを共有し、豊かな地域社会について考えました。(写真⑫⑬⑭)

第3分科会

「世代間交流!～子どもからお年寄りまで楽しめることって?～」

長野県福祉大学校の保育学科と介護福祉学科の学生と参加者でつくる、地域のカルタ。諏訪の良いところ、自分の地域の好きなところをグループで話し合い、カルタを作りました。学生からは、「温かいみなさんから地域へのさまざまな思いが聞けて面白かった」と感想があり、お互いの学び合いを感じる分科会でした。(写真⑮⑯)

第4分科会

「動物と人の関係を考える」

多頭飼育や地域猫(動物)活動について、県や保健所、動物病院獣医師、ボランティア団体と参加者で現状や課題を共有しました。その中で、動物福祉と人間福祉の分野におけるそれぞれの立場の方が集まり、お互いにできることを持ち寄り、役割分担しながら課題を解決していくことが欠かせないことを改めて確認しました。(写真⑰)

第5分科会

「災害ボランティアセンターの力を信じて、企業と社協、NPOの連携を語ろう!」

諏訪防災ネットワーク、長野市災害ボランティア委員会、日本防災士会長野県支部、岡谷市消防団の活動報告、トヨタ自動車株式会社の取組、「サスながの」の取組、佐賀未来創造基金の取組から、地域にあるさまざまな立場が、チカラを発揮できるつながりを平時から作ることで、災害時にも大きなチカラになることを再認識しました。(写真⑳)

第6分科会

「物価高騰にまけるな 信州に広がる助け合いの輪」

休眠預金を活用して物価高に苦しむ世帯を支援する事業に取り組む3団体から報告。困窮世帯の定義を私たちが決めるべきではなく、顔をあわせたつながりの中で、ボランティアな活動を活かして、「困っている世帯」を発掘し、支援につなげていく取組を各地に広げていきたいと語り合いました。(写真㉑)

特設ブース「炊き出し and 座談会ミーティング」

地元実行委員の諏訪圏青年会議所から、温かな豚汁の炊き出しがありました。諏訪圏青年会議所は、諏訪圏の20～40歳の青年経済人が集まり、この地域をよりよくする団体。まちづくりをメインに、今年は更生保護を含む社会保障を1丁目1番地に掲げ、取り組んできました。「福祉の皆さんとつながることができ、得られた知識を大切に、これからも皆さんとつながっていききたい」とコメントがありました。(写真㉒㉓)

2日間のまとめ

コーディネーターの新崎国広氏が、「“敷居は低く、志は高く”面白そう、楽しそうからつながっていくことで仲間ができる。そんな参与、参加、参画の仕組みをつくっていこう!どんな風にしたら面白そうか、楽しそうかみんなで考えていこう!」と2日間を締めくくりました。

フォーラムの詳細は、報告書にまとめ後日皆さんへお届けします。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和5年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
こちらから
(ふくしの保険ホームページ)



保険金額・年間保険料（1名あたり）

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円			
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)			
	入院保険金日額		6,500円			
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円		
		外来の手術		32,500円		
	通院保険金日額		4,000円			
	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外(*)		初日から補償		
賠償の補償	地震・噴火・津波による死傷		×	○	○	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)			
年間保険料			350円	500円	550円	

*3月末までに契約手続きが完了し、前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

<重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆特定感染症重点プランでは中途加入の場合でも補償開始日より特定感染症が補償対象となります。
- ◆年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 保険会社
 TEL: 03 (3349) 5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)
 この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03 (3581) 4667
 受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

(SJ22-12223より抜粋して作成)

令和5年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

老人福祉施設、
障害者支援施設、
児童福祉施設などに

スケールメリットを活かした割安な保険料で
充実補償をご提供します!

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険等)

① 基本補償(賠償・見舞)

保険期間1年

▶ 保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
お見舞い等	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバー保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 保険会社
 TEL: 03 (3349) 5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03 (3581) 4667
 受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)



プラン1 オプション5 施設の感染症対応費用補償

休業補償から各種対応費用までワイドな安心

- ① 休業や縮小営業による収益減少はもちろん、収益減少を防止・軽減するための人件費なども補償
- ② 消毒・清掃費用や自主的なPCR検査費用など、かかった費用を幅広く補償
- ③ 感染症対応特別費用で定額20万円を早期に受取り

プラン2 施設利用者の補償

プラン3 職員等の補償

プラン4 法人役員等の補償

(SJ22-12033から抜粋)



福利厚生の実施は、 人材確保・定着に大きく貢献します

ソウェルクラブに加入し、魅力ある職場づくりと質の高い人材確保・定着を進めませんか

新卒学生は企業選択時に「福利厚生」を重視します

株式会社マイナビが実施した「マイナビ 2024 年卒 学生就職モニター調査 5月の活動状況」によると、2024年卒業予定の大学生が就職先企業を選ぶときに注目するポイントの第1位は「福利厚生制度の充実」という結果が示されました。福利厚生の充実が、新卒学生への強力なアピールポイントとなります。

「魅力ある職場づくり」「質の高い人材確保と定着」のため、福利厚生の充実が重要

福利厚生の充実が、従業員の心身のリフレッシュやストレス解消、職員の就業意欲の高揚につながるものであり、人材確保・定着の方策として、給与や労働時間と並び、極めて重要です。また福祉・介護職場の離職者の多くが離職理由として「職場の人間関係の問題」を挙げていて、良好な雰囲気職場づくりのためにも福利厚生の充実をご検討ください。



全国規模だからできる充実のサービス内容

社会福祉法人福利厚生センター（ソウェルクラブ）は、社会福祉法に基づき「社会福祉事業従事者の福利厚生の増進を図る」ことを目的に、厚生労働大臣から指定された全国唯一の法人であり、長野県内の約3,200人、全国では約27万人超の会員向けに様々なサービスを提供しています。

個々の法人では困難な福利厚生事業を全国規模で共同化することで多様なサービス提供を実現しています。

ソウェルクラブへの加入・サービス利用は、人材確保・定着のお役に立ちます。



1人年間1万円の掛金で、お得でうれしい・楽しいサービスの数々が受けられます

掛金額

- 第1種会員（全てのサービスが利用可能です）・・・1万円/年間
- 第2種会員（非常勤職員のみ加入可、一部サービスのみ利用可）・・・5千円/年間

福利厚生センターの主なサービス

基本サービス

生活習慣病予防検診費用助成 最大3,800円(R6.4月から) 健康生活用品 毎年1点給付 電話健康相談 相談料・通話料無料
永年勤続記念品、長期勤続者退職慰労記念品、結婚・出産・入学時のお祝品、弔慰金、見舞金
資格取得記念品：5,000円相当の記念品 クラブ・サークル活動助成 1人あたり1,000円、他

お得な優待割引サービス

指定保養所、会員制リゾート施設、国内・海外パッケージツアー、レンタカー、スポーツクラブ、スクール、ソウェル保険、特別提携住宅ローン、特別資金ローン（多目的ローン）
住宅建築、マイカー購入・リース、結婚式場・結婚サービス、葬祭サービス、引越サービス
ソウェルクラブ「クラブオフ」
全国の宿泊施設、レジャー施設、日帰り湯、グルメなど、国内外20万以上の施設・サービス優待料金、他

都道府県事務局事業

会員交流事業（会員同士の親睦・リフレッシュのためのグルメ、ツアーなど、楽しいイベントや利用助成を実施）
長野県内の会員様限定でこんな事業も実施しました
・東京ディズニーリゾート入場料・宿泊料が約半額となるツアーを実施
・「ご褒美レストラン Again！」・・・県内有名飲食店を定額の75%OFFでご利用
・「あこがれおやど」・・・普段なかなか利用できない高級旅館に、通常価格の約半額で宿泊
来年度以降も継続予定ですので、ご期待ください。

● 詳細は、福利厚生センター（ソウェルクラブ）公式サイト、又はクラブオフ公式サイトをご覧ください。

ソウェルクラブ
公式サイト



クラブオフ
公式サイト



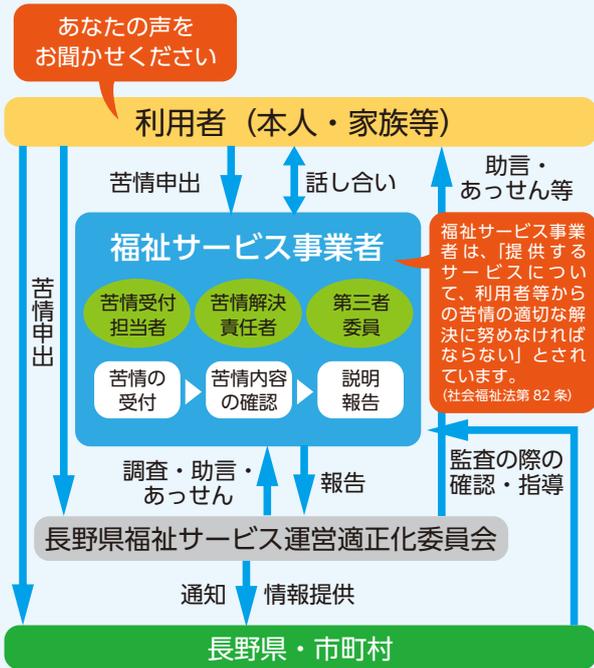
お問い合わせは・・・長野県社会福祉協議会 総務企画部 共済事業グループ
(ソウェルクラブ長野県地方事務局) TEL.026-226-4126



福祉サービスへの「悩みごと」「困りごと」を満足へ

～安心して福祉サービスを利用できるために～

福祉サービスに関する苦情相談のしくみ



長野県福祉サービス運営適正化委員会の役割

○苦情解決の取組

第三者的立場で、秘密を守り丁寧に相談を受け止め、解決をお手伝いします。

○福祉サービスの質の向上に向けた取組

毎年、事業者や苦情受付担当者・苦情解決責任者、第三者委員に向けた研修等を実施しています。令和5年度苦情対応システム研修会では、北本佳子氏（昭和女子大学教授）にソーシャルワークの視点から「苦情」にどう向き合うかご講義いただき、多くの参加者が学びました。



長野県福祉サービス運営適正化委員会

TEL: 026-226-2210 FAX: 026-228-0130
E-mail fukushi7109@nsyakyo.or.jp



『イエローサブマリン・ビートルズ』

作者：藤森 侑真（20才・諏訪市在住）

元々は、動物や魚などのイラストを巧みに描いていた藤森さんに、彼が通う福祉事業所のスタッフが、「ミュージシャンとか描いてもらったらどうなるんだろう」と、あるミュージシャンのスクール写真を見せたことがきっかけで、彼のミュージシャンシリーズの制作が始まった。スタッフから提供されるCDジャケットやスクール写真を、自分のペースで、気の向くままに仕上げていくそうだ。ビートルズのミリタリー룩（懐かしいなあ）のこの絵はカッコいいとしか言えない。このほかにモディ・ガガやデビット・ボウイなどの

の絵がたくさんあって紹介したいところだが、単に見本をそっくり写したのではなく、個性が十分に出ているフジモリワールドだ。

藤森さんは小さい頃より絵を描いたり、モノを創作することが大好きだったそうだ。周囲からの刺激に過敏になってしまうことがあるが、絵を描くことに集中することは周囲からの刺激に振り回される不安感を鎮めているのかもしれない。『不安を鎮める』⇒『安心・癒し』⇒『アートのチカラ』ともいえるかもしれない。いずれにしてもカッコいいイラストレーターである。

（ながのアートミーティング 関 孝之記）

Webサイトもご覧ください！

ご感想・お問合せ・掲載希望等は下記へお寄せください

長野県社会福祉協議会 総務企画部 企画グループ
TEL 026-228-4244/FAX 026-228-0130
E-mail info@nsyakyo.or.jp

